

# 丸徳グループ

## 車両分科会

だ

よ

り

Vol.26

丸徳グループ各社従業員の皆様  
毎日の業務、ご苦労様です。

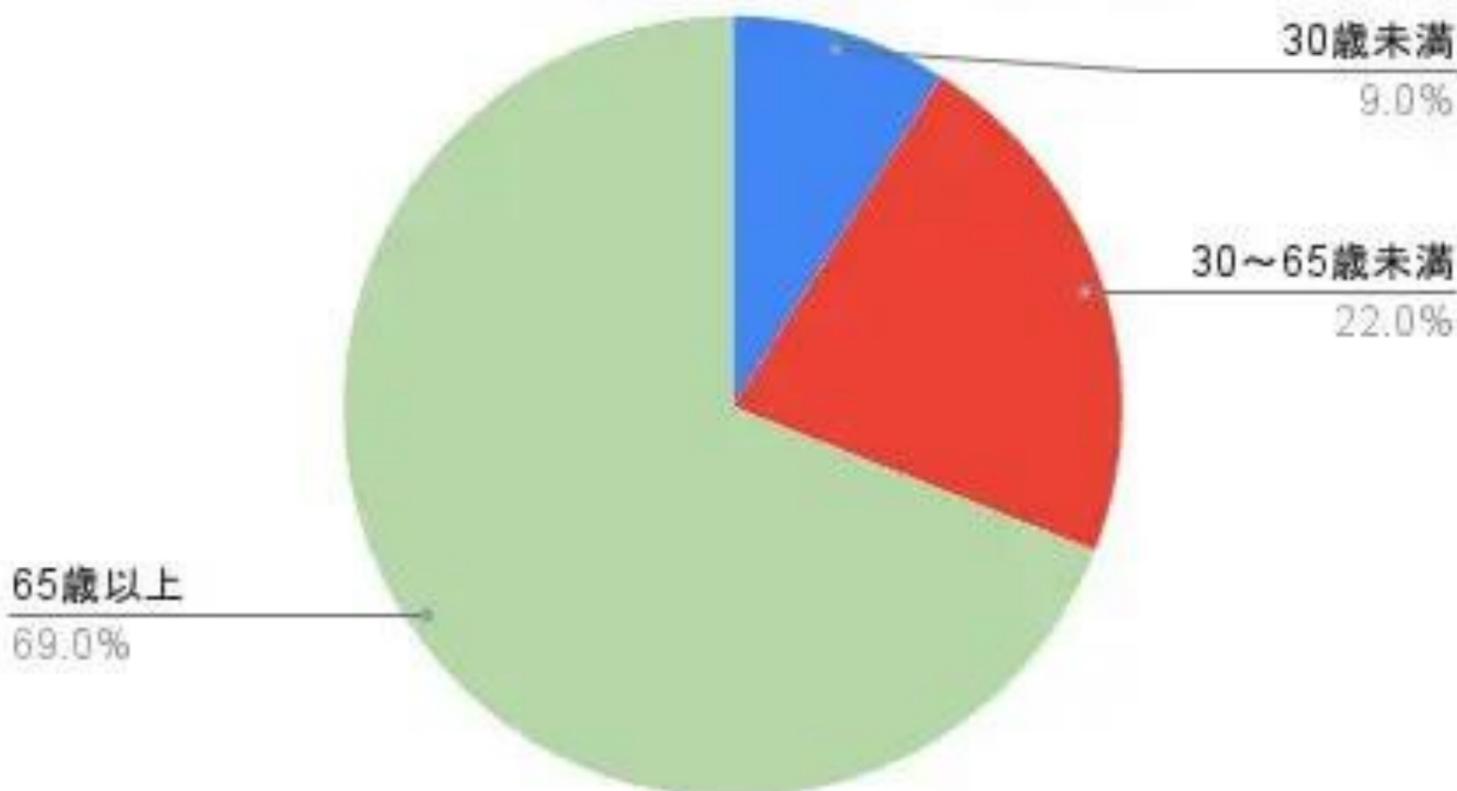
今月の記載内容は・・・

- ・ **高速道路**での逆走が起こる原因！
- ・ **子供たち**を交通事故から守るために！
- ・ 交通ヒヤリハット（郊外での運転）
- ・ 愛知県警からのリーフレット4月

# 高速道路における逆走の発生状況

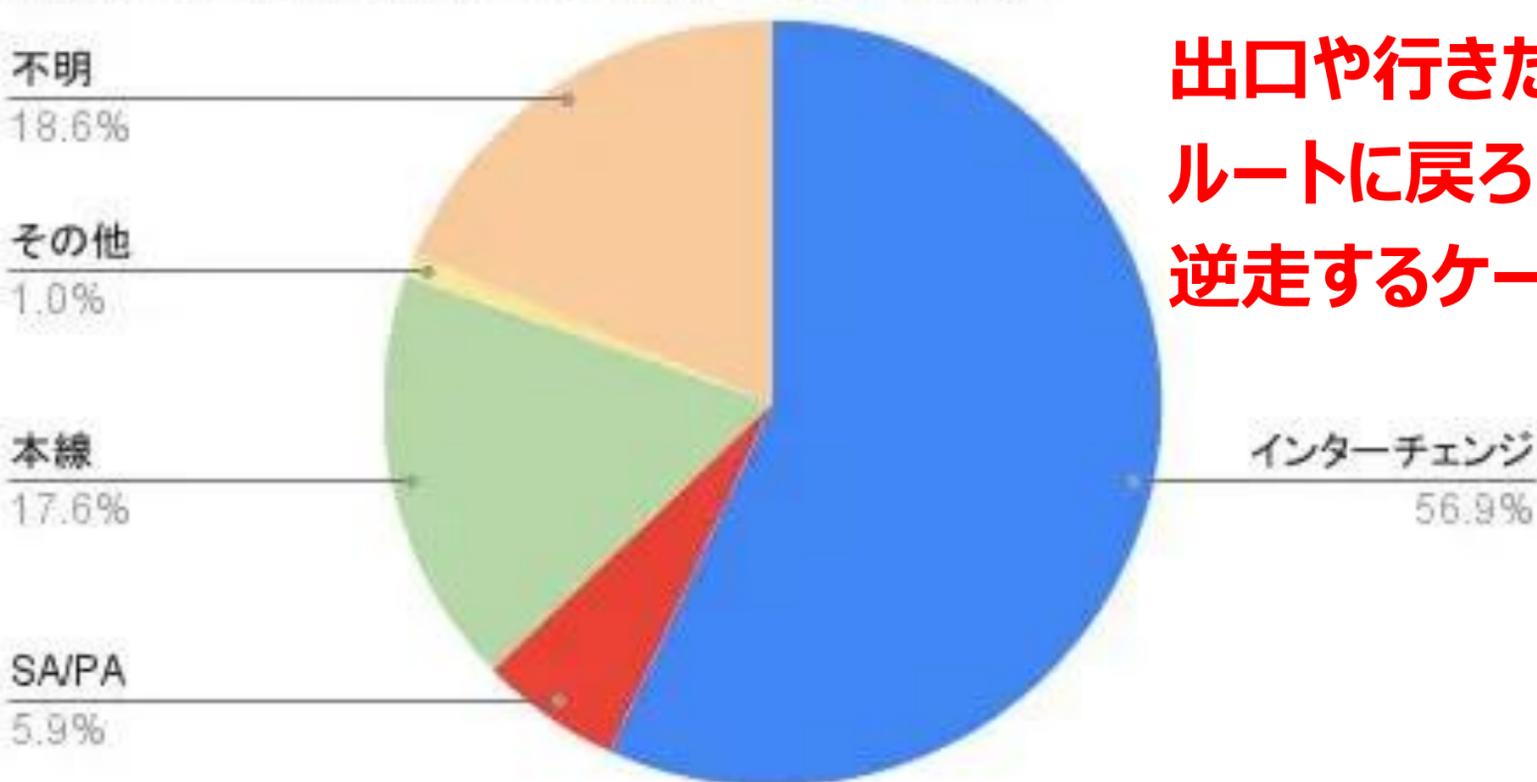
## 逆走行為の年齢は、約7割が65歳以上

逆走した運転者の年齢(2018年)国土交通省のデータをもとに作成



## 逆走の約6割は、インターチェンジとジャンクションで発生

逆走発生場所(2018年)国土交通省のデータをもとに作成



通り過ぎてしまった  
出口や行きたかった  
ルートに戻ろうとして  
逆走するケース

高速道路で逆走をした場合の死亡事故率は  
通常の事故の15倍~40倍

# 逆走が起こる原因とは？



一方通行であるはずの高速道路で、なぜ逆走が起こってしまうのでしょうか。

**故意** : 逆走であることを認識した上で走行

**過失** : 逆走であることを認識せずに走行

**認識なし** : 逆走を終えた時点でも、逆走していたという認識ができていない走行

## ① 故意による逆走

逆走を起こす運転手は約7割が65歳以上。

故意による逆走はその半数が65歳未満の運転手によるものです。

## ② 過失による逆走

逆走と分からず、不注意で逆走してしまう人が全体で最も多くなっています。38%が過失によるものです。

## ③ 認識のない逆走

9割が65歳以上の運転手によるものです。

# もし逆走をしてしまったら



逆走をしてしまう可能性は誰にでもあるのです。

## 逆走していることに気付いたら

車内に乗ったままの通報は事故に巻き込まれる可能性大。  
安全な場所に止まり、慌てず通報しましょう。

## まとめ

- ・ 逆走は概ね2日に1回の割合で起こっている
- ・ 逆走の約7割は65歳以上の運転手によるもの
- ・ 高速道路でのUターンや後退による逆走は絶対にNG
- ・ 自分が逆走してしまった時や逆走車を見かけたら  
安全な場所から通報

自分自身が逆走をしないようにすることは当然ですが、  
気付かず逆走してしまったときや逆走車を見かけたとき  
には、焦らず落ち着いた行動を取ることが大切です。

# 子供たちを交通事故から守るために

## ◆低学年児童の交通事故が多い時間帯と月

交通事故による小学生の死亡重傷者数をみると、**低学年（1、2年生）**は歩行中の交通事故が多く、**高学年（5、6年生）**の約3倍になります。

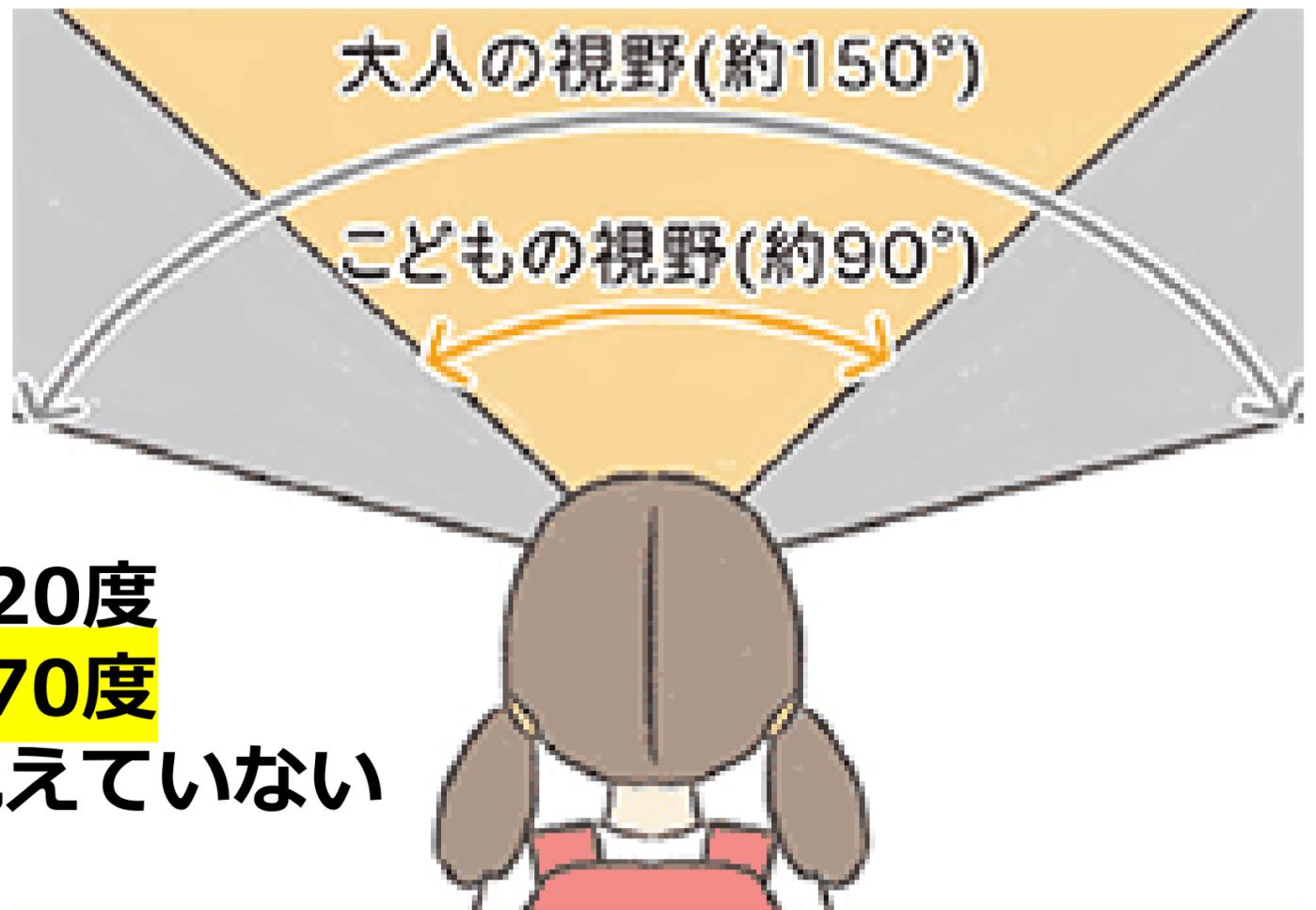


## ◆低学年児童の交通事故が多い時間帯と月

歩行者優先である横断歩道で起きた死傷事故が全体の約3割を占めています。



## ◆ 子供の行動特性・特徴を理解する



垂直方向

大人 約 120度

子供 約 70度

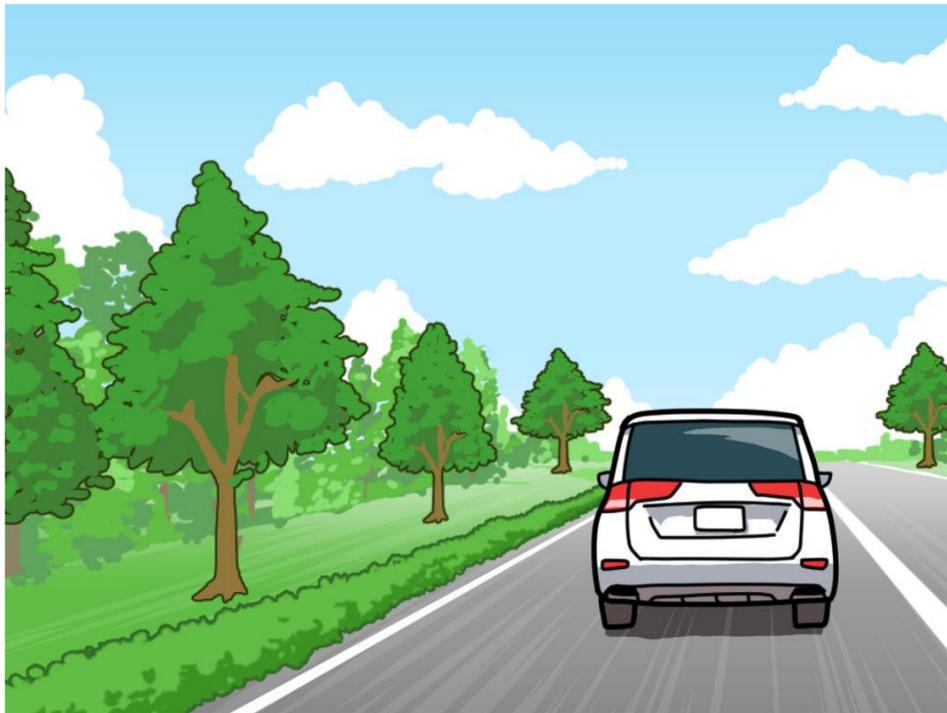
狭い範囲しか見えていない



- 学校を中心とした半径500m内のスクールゾーン、生活道路の区域を示す、子供が多い場所。
- 子供は大人より目線が低く視野が狭いため、接近してくる車の速度や距離感を把握できない。

# 交通 ヒヤリハット

## ヒヤリ：郊外での運転



### 状況

郊外の道路を前車に続き走行している。



ヒヤリ

動物が飛び出てきて驚いた前車が急ブレーキをかけたので追突しそうになった。

つい速度を上げてしまいたくなる状況ですが、予期せぬ事も起こります。**車間距離と安全速度**は運転の基本になりますので、忘れず安全運転を心掛けましょう。

# 交通事故防止の POINT

R7-4

## 歩行者の交通事故防止～道路横断時の事故防止～

前回の事故防止のポイント (R7-③) では、ドライバー目線で横断歩行者との事故についてその特徴を解説しました。そこで今回は、歩行者目線で道路横断時の事故防止について解説します。

※各データは令和2年～令和6年に愛知県内で発生した交通事故をもとに作成

### 歩行者死(傷)者の特徴①

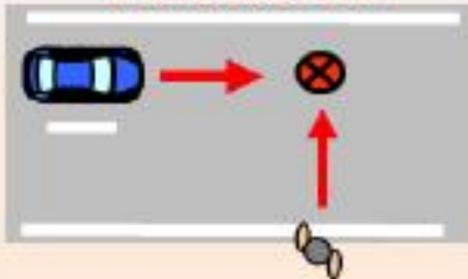
### 道路横断中の事故が多発しています！

- 死傷者の半数以上(52.3%)、死者の6割以上(64.9%)は、**道路横断中**の事故です！
- 横断中死者の約6割が**横断歩道以外の場所**で衝突しています！

### 歩行者死(傷)者の特徴②

### 歩行者から見て 左から進行してくる車両 との死亡事故が多発しています。

#### 左から来る車両



【歩行者死亡事故の進行方向別件数】

| 歩行者 \ 相手 | 右から来る車両 | →差→   | 左から来る車両 | 計   |
|----------|---------|-------|---------|-----|
| 総件数      | 23      | 約3.8倍 | 87      | 110 |

※特に夜間はその傾向が顕著(4.5倍)になります！

※事故類型「横断中」かつ信号のない場所での死亡事故を抽出

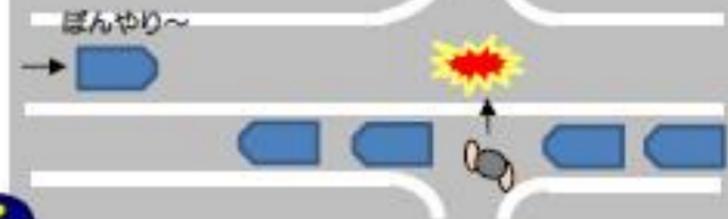
## ★ 危険な横断例 ★

この横断の場合、どこが危険か考えてみましょう。

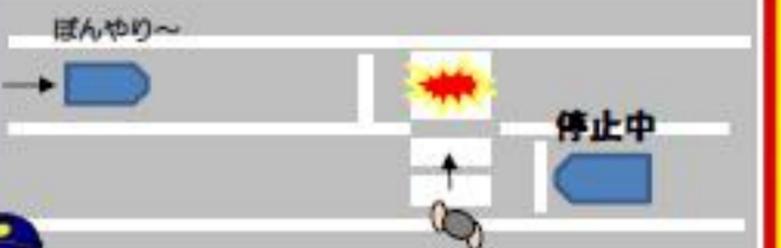
コンビニなど



- ・横断前の確認のみで、その後は目的地(コンビニなど)ばかりを見ている。
- ・車は自分に気がついていると思っている。



- ・渋滞車両で左から来る車が見えていない。
- ・左から車が来る可能性を考えていない。
- ・「今なら渡れる！」と焦っている。



- ・止まってくれた車に申し訳なく思い、急いで渡ろうと思い、左を見ていない。
- ・左の車も止まってくれると思い込んでいる。

- ①近くに横断歩道がある場合は、必ず横断歩道を利用しましょう。
- ②左右の安全確認をしてから横断しましょう。(※少しでも迷ったら横断しない)
- ③遠くの車もあっという間に近づいてきます。横断途中にもう一度安全確認をしましょう。
- ④「ドライバーから自分は見えていない」と思って、横断を判断しましょう。

なんと人身事故の原因の約3割は、ドライバーの前方不注意なんです！

【原付以上第一当事者の人身事故件数と人的要因】

| 人的要因  | 件数      | 構成率    |
|-------|---------|--------|
| 前方不注意 | 30,500  | 27.1%  |
| それ以外  | 82,180  | 72.9%  |
| 総数    | 112,680 | 100.0% |